SANTOMO

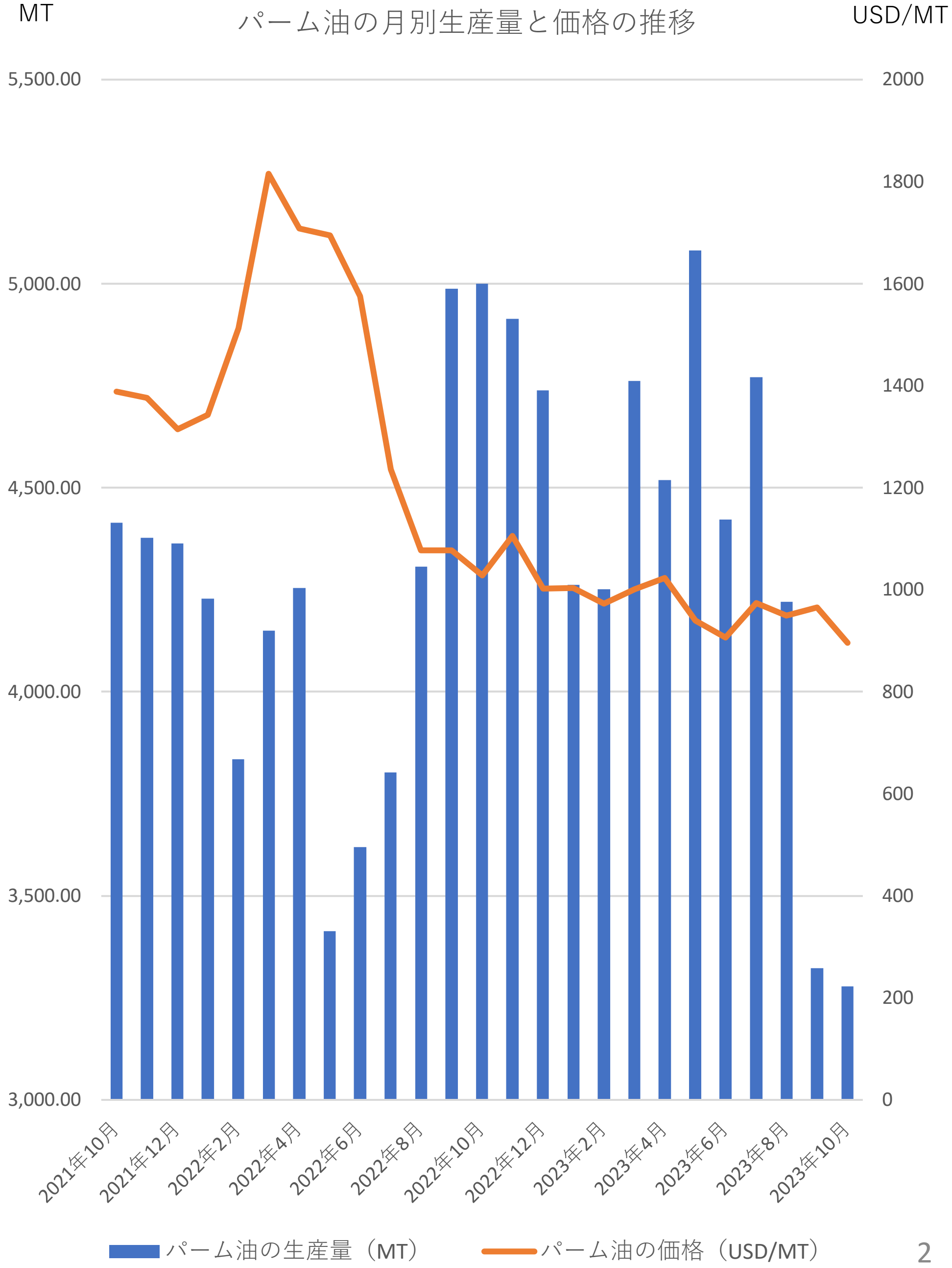
Market Report

2023年11月号

インドネシアのパーム油生産量及び価格見通し

1.　実績
2023年10月のFFB価格は、全てのFFB生産州で2023年9月のFFB価格に比べ下落した。FFBの最高価格は2,473.92Rp/kgのリアウ州で、最低価格は1,897.94Rp/kgの西パプア州であった。一方、CPOの最高価格はRp. 10,894.34Rp/kgでリアウ州で、最低価格は10,541.79Rp/kgで南スマトラ州で記録され、作付け年数による平均価格は2,293.25Rp/kgでリアウ州が最高で、最低価格は1,703.23Rp/kgで西パプア州で記録された。

2. 見通し
インドネシアのほぼ全域における干ばつの影響は弱まり始め、11月からは雨季を迎えた。降雨量はアブラヤシの潜在収量を制限する主な要因と考えられ、その生産性は一般的にアブラヤシプランテーションの植物の年齢構成に大きく依存する。

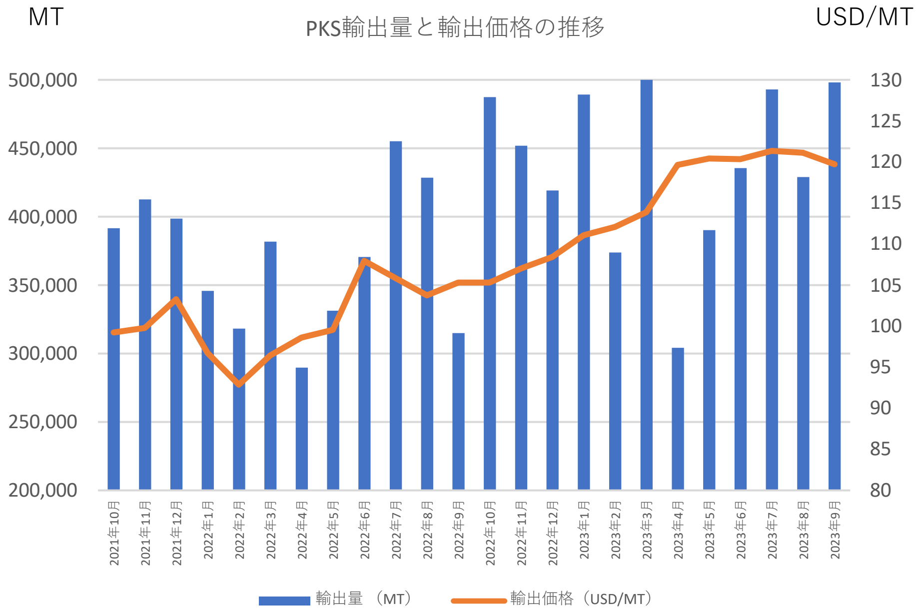


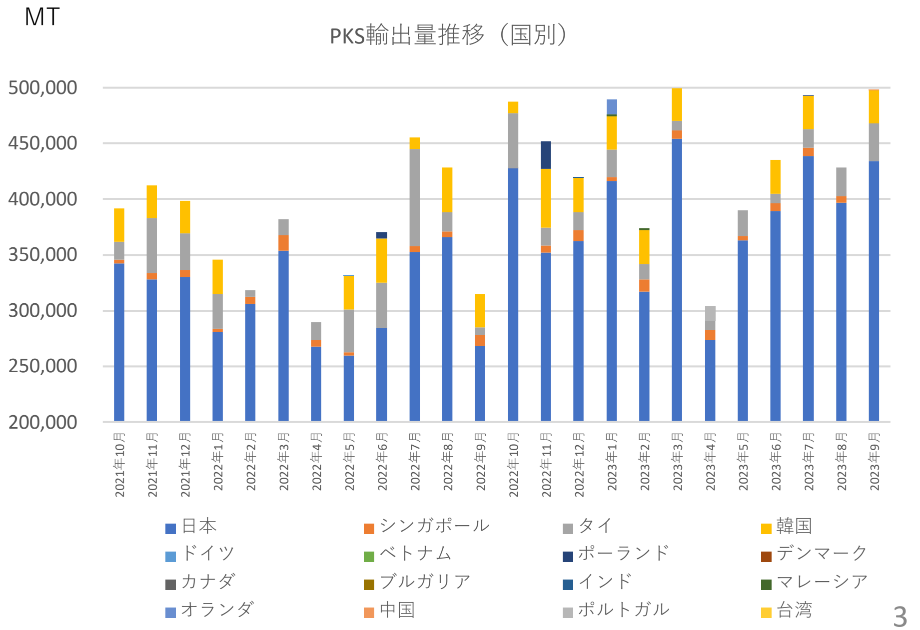
出所：各種情報を元にサントモにてデータを作成

インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

1. 実績
2023年9月のインドネシアのPKS輸出量は497,957.17トンで、428,720トンと記録された8月の輸出と比較すると69,237トン、16.15％の増加であり、また、2023年9月のPKS輸出額は56,620,970 USDを記録した。最大の輸出先は日本であり、輸出量は434,159トン、外貨換算額は52,110,153 USDを記録した。

2. 見通し
11月より雨季に入ったため、パームヤシの収穫量が増加すると考えられる。





出所：各種情報を元にサントモにてデータを作成